トピックス

2006年日中農村金融セミナーを開催

農林中金総合研究所は，2006年11月20日～22日の３日間にわたり，北京において「2006年日中農村金融セミナー」を開催しました。

当研究所では，1999年以降８回にわたり，中国の研究者および政府関係者を対象に，日本の農協，農業等について紹介するセミナーを北京で開催してきましたが，今回からこれを見直し，農村金融についての日中共同研究を実施することとしたものです。

このセミナーは，中国農村政策研究センター（陳錫文主任），国務院発展研究センター農村部（韓俊部長），中国農業大学経済管理学院（王秀清院長）および農林中金総合研究所の共同研究として開催され，政府の農業金融担当部門および研究機関からの参加者に加え，地方政府の農業金融担当者および農村信用社からも多数の参加をいただきました。

中国では，都市と農村の格差が拡大するなかで，いわゆる「三農問題」の解決が最大の政策課題となっており，そのなかでは，農民に必要な資金を供給する仕組みを構築することも極めて大きな課題となっています。今回のセミナーでは，日本における農業・農村金融の発展の歴史とその背景について，当研究所から詳細について講演を行うとともに，中国側からは中国の農村金融の現状と課題について報告が行われました。参加者の日本の農協をはじめとする農業・農村金融についての関心は大変高く，農協の仕組みと役割，政府の支援，農村金融が発展した理由等について熱心な討議が交わされました。

当研究所では，共存共栄の精神で日中農業部門の交流と友好を深めるため，今後もこの取組みを推進していくこととしています。（文責　石田信隆）

＜セミナーの概要＞

◆開催日：2006年11月20日(月)～22日(水)
◆会　場：中国農業大学
◆プログラム：
○挨拶
国務院発展研究センター農村部部長　韓俊氏
在中国日本国大使館公使　加藤弘之氏
(株) 農林中金総合研究所　代表取締役社長　大多和巖
○講演（当研究所）
　Ⅰ　日本の金融システムと農業・農村金融の概況
　Ⅱ　日本の農村金融制度の成立
　Ⅲ　日本の農村における協同組合金融の発展
　Ⅳ　日本の農業・農村金融における農協の役割
　Ⅴ　日本の農村金融の発展に果たす政府の役割
　Ⅵ　農業・農村金融と金融機関
　Ⅶ　信用補完と管理・監督制度
　Ⅷ　農協系統の組織・経営問題
　Ⅸ　日本における農村金融研究
○講演（国務院発展研究センター農村部，中国農業大学）
　・中国農村金融の現状，問題点および発展方向
○総合討議
◆当研究所側出席者
(株)農林中金総合研究所
　代表取締役社長　大多和巖
　常務取締役　越智正也
　理事研究員　石田信隆
　基礎研究部長　原弘平
　主任研究員　阮蔚
(財)農村金融研究会
　専務理事　木原久

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。